

つけたい力

知識及び技能(知る・できる)
思考力・判断力・表現力等(考える・選択する・表現する)
学びに向かう力、人間性等(チャレンジする・人とつながる)

取組みの概要・ポイント

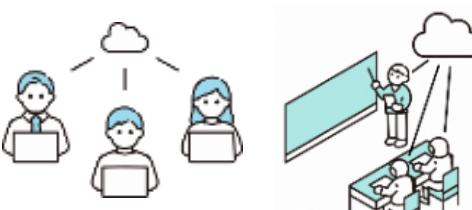
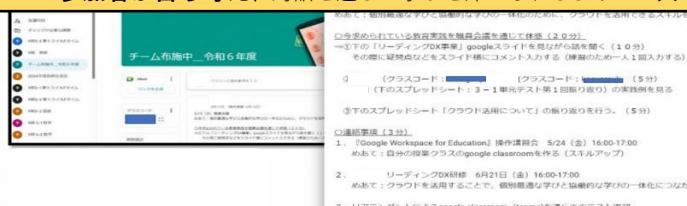
生徒は『学習の手引き』を活用し、学習の進め方を考え、振り返りを通して学びを深めている。教員もクラウドを活用し、生徒の学びと相似形となる会議や研修に取り組み、その変化が授業へと広がった。さらに、校務DXの推進により、即時の情報共有が可能となり、業務の効率化と指導の質の向上が進んでいる。

具体的な取組みの内容 「校務DXの推進・クラウド活用」

最上位目標 『自主・自律』

職員会議・校内研修の変化

会議や研修の進め方を、『学習者主体の授業』と相似形になるようにし、
参加者が自ら考え、対話を通して学びを深められるように工夫



縦割り授業 (平和登校日：生徒による授業)

3年生が1・2年生に向けて
授業をしている様子

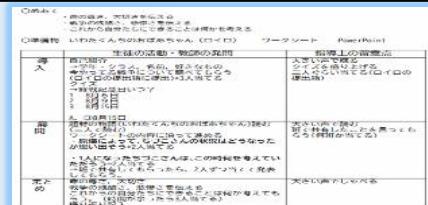


異年齢集団での学び

8・5等級 集団		スクール	ワーグード
1	1	1	1
1	2	2	2
1	3	3	3
2	1	1	1

校務DXの推進 クラウド活用

生徒がクラウドを活用
しながら作成した指導案



授業改善 (子ども主体の学び)

生徒が学習の見通しをもてるよう、単元の冒頭で
『学習の手引き』を提示

【理解できたことを話す！アウトプットを意識してやっていこう！】

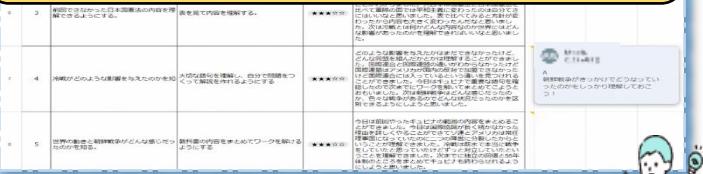
- ① CanDoリストを確認
- ② 単元計画表に単元のゴール(何が理解できるようになるのか)進め方を記入
- ③ 具体的な目標設定を行う
- ④ 自分のやり方で勉強を進めていく。
- ⑤ 単元計画表に振り返りを記入 授業時間内に書ききれるように調節すること。
- ⑥ 進めたところまでCanDoリストを更新する

※振り返りについて

1時間でどのように学習を進められたのか、1時間で目標にしていた内容で何が理解できるようになったのか、次回の学習はどうのように進めていくのか、この3つを具体的に書き、自分自身の学習を振り返りましょう！

生徒は学習の見通しをもち、必要に応じて他者の考え方や成果物を参照しながら学びを進める。

授業では、【めあて、理解度、振り返り】を自ら記入し、学びを振り返ることで、理解を深めている。



心理的安全性 (教員も生徒も『挑戦と失敗ができる学校』)

※安心して意見を出し合い、失敗を学びに変えられる環境があるからこそ、新たな実践が生まれ、挑戦が続く

取組みを通しての子どもの変容

生徒はクラウド上の情報を活用し、『学習の手引き(学習の流れ)』を参照しながら、学習の進め方や学ぶ相手を自ら選択できるようになった。また、自分で課題を見つけ、他者の成果物などを活用して情報を収集・分析し、主体的に学びを深めている。その結果、学びを深めるプロセスが定着し、探究的な学びを進める姿が見られるようになった。

布施中ポータルサイトで
本校の取り組みを
公開しています。

